



ロータリー財団部門委員長会議

○ リーダー

- | | |
|--------------------------|-------|
| ・ パストガバナー | 前窪 貫志 |
| ・ 地区ロータリー財団部門委員長 | 岩本 行弘 |
| ・ 地区ロータリー財団部門学友委員長 | 藤原 重行 |
| ・ 地区ロータリー財団部門増進副委員長 | 中西 栄一 |
| ・ 地区ロータリー財団部門 G S E 副委員長 | 福岡 重弘 |
| ・ 地区代表幹事 | 前田 耕道 |

○ 参加者

- | | |
|-----------------|----------------|
| ・ 高野山 R C 平田 晃生 | ・ 打田 R C 児玉 光由 |
| ・ 橋本 R C 中西 栄一 | ・ 打田 R C 井尻 和男 |
| ・ 岩出 R C 曾和 宏之 | ・ 岩出 R C 西平 邦彦 |
| ・ 橋本紀の川 | ・ 岩出 R C 大東 敏晃 |
| R C 田村 章弘 | ・ 岩出 R C 芝田 豊和 |
| ・ 粉河 R C 田中 登 | ・ 粉河 R C 谷口 寿英 |
| ・ 粉河 R C 榎本 任志 | |

○ 司 会 西口 康一（粉河 R C）

前窪 貫志（和歌山南）ガバナー 挨拶

米山と並んでご寄付を頂く委員会とのイメージが強いですが、ただお金を集めていると言われるのが一番困ります。そればかりでなくロータリープログラムを作り、イラク等での戦争回避の為に人材をも育成する為のプログラムも行っており、委員長さんがこの点を率先してPRしていただきたい。



当地区成績ですが、実は一人当たりが重要でありまして一人200ドルを目標とさせていただいております。昨年は6クラブとも目標をオーバーしていただいております。多いところで273ドル、このIMは245ドルで2番目です。ありがとうございます。

岩本行弘（富田林東）地区R財団部門委員長 報告兼説明

それでは資料を見ながら説明させていただきます。

平素はロータリー財団に格別のご支援ご協力頂き厚くお礼申し上げます。ロータリー財団につきまして4月の地区協議会 9月のクラブ財団委員長会議で概略を説明いたしました。その中でご質問のありました寄付金について少しお話させていただこうと思います。



会の皆様から頂いた寄付金がどの様に管理されているか説明させていただきます。現在の寄付はクラブの事務局員さんまかせにされているところが多いのではないのでしょうか。私のクラブもそのようなところがあります。しかし財団委員長さんは寄付金についてもう少し知って欲しいと思います。そこで寄付金の流れを簡単に説明させていただきます。

皆さんが寄付されますと、クラブの事務局員さんは通常東京の国際ロータリー事務局に送金明細書（資料）に記入され送金手続きされております。まず、流れと管理についてです。送金明細書の上からご覧下さい。いろいろ書いてありますがこれを事務局員さんが記入して送っておられる訳です。以上申し上げましたように最も大切な事はご寄付される方の意思に沿っているかどうかということです。意思表示が正しく記入されているかどうかです。ロータリー財団ではこの送金明細書に基づき一

人一人アメリカのエバンストンロータリー財団事務局で管理されております。

ロータリー財団では会員全員にIDナンバーで管理しています。国際ロータリーも同じことです。そこで注意しなければならない点があります。それはローマ字名で記入される時です。スペルが一字でも違っておれば別人と認識されてIDナンバーも変わってしまいます。



例えば同じ人が2つ持っていて、リストに別人と認識されていることがあります。昨年9月からロータリーのウェブサイトアクセスすると記録が確認出来るようになりました。その表を全部取り出しております。すべて英語です。これを見るにはクラブのパスワードが必要です。それはあらかじめクラブの会長さんが登録しなくてはなりません。今お見せいたしましたのは、私がクラブの会長をしておりますので、私のパスワードでそれを取り出した訳です。皆さんも同じ様にクラブでこれを開いていただくことが重要です。登録していないクラブがありましたら早急に手続きをお勧めします。でないと記録が実際にその人の名前で記録されているのか確認もとれないからです。その表にはかなり古いのも載っています。

また注意しなければならないのは他のクラブから移籍された方です。他のクラブに行かれた場合またそこで登録されると別人になってしまう。その場合古いIDナンバーをそのまま使う。これが記録を継続される訳です。これが重要でありいろんな認証を受ける場合大切となります。IDナンバー2つ3つある場合は東京の国際ロータリー事務局に訂正の申し込みしていただきたい。こちらから変更申請しなければ変わりません。

さて 寄付金についてです。これらはロータリーの友の11月号の29ページの資料です。今月はロータリー財団月間ですのでいろいろ載っております。みていただくとお分かりのように 寄付金には 3つあります。年次寄付 使途指定寄付 恒久基金であります。地区で使える資金があります。地区財団活動資金DDFと呼んでいます。これは年次寄付の60%と恒久基金の収益金の60%が3年後に使える資金であります。表から3年後には10万ドル程の資金と奨学生が辞退した場合の繰越金との合計となります。しかし2006~7年度から50%に減額されることになっております。使途指定寄付はこの地区の寄付金が多いのがおわかりだと思います。これは昨年ポリオプラスへご理解して寄付していただいた結果であります。

次にロータリー財団国際親善奨学金制度について説明させていただきます。12月ごろ詳しい要綱ができます。皆様には1月ごろから2005-6年度の国際親善奨学生を募集、申請をお願いします。これが昨年度の申請書です。こういう申請書があるということを覚えておいてください。これは学生が記入します。最後にクラブの確認の欄がありますので会長さんのサインをして提出していただきます。

奨学金は皆さんの貴重な寄付金の中から支給されております。推薦クラブの裁量におまかせしております。クラブで面接して頂き この人なら国際親善できるだろうか判断していただきたい。しかし推薦したくない人物であると思われたら 無理に推薦される必要はございません。皆さんの事業所でも同じ事と思います。採用される時は面接して決定されると思います。



ロータリー財団国際親善奨学金制度にも3つあります。6ヶ月の文化研修があります。ホームステイが原則です。そして上限が1900ドル。2つ目は1学年奨学金です。上限が2500ドル。大学や大学院で勉強される人に支給します。2年間マルチイヤーがあります。1年で12500ドル いってもいらなくても支給します。2年間大学院の学位取得の為です。必要な経費の残りは本人負担です。支給対象ですけど往復の旅費、授業料、妥当な部屋代、贅沢をしない程度なもの、食事代等です。ロータリーで規定しています。応募資格ですが、入学までに2年間大学課程を修了していること。ロータリー関係者、配偶者、子、孫もダメです。ロータリーを辞めて3年以内はロータリー関係者とみられるからです。理由は3年以内では自分のした寄付金になるからです。派遣するロータリークラブはスポンサークラブとなり、向こうでホストクラブという安心していける奨学生制度と考えられます。今行っている奨学生は3年前の寄付金のDDFです。今のご寄付2003~4年分は2006~7年に50%使われます。60%が50%に減らされます。確実に減ります。配分の方法が変わってくるからです。また次いで留学までの過程を申し上げます。応募してクラブに提出して頂きます。ガバナー事務所で直接受け取りません。すべてロータリークラブを通して推薦していただくのが原則です。クラブで面接していただき OKなら4月末ごろまでに申請して頂きます。地区では地区試験を行います。面接と試験。これをすべてロータリー財団に送ります。その機関で審査します。実力で入学許可を得なければなりません。

ロータリーは学校の推薦をいたしません。地区試験を通っても奨学金を必ずしも受けられるという保証はございません。自分の希望している学校に自分で入るしかないので、語学力や成績がだめな場合辞退を余儀なくされる場合があります。今まで数人います。すべての書類を調べて 入学許可を得たなら入学手続きとなります。交換制度ではありません。また指定されるというが 同じ地区にたくさん行かないで方々の国に行っていただきたい。同じ地区に15名ぐらいしか行けないことになっている。例えばロンドン大学に行きたい人が世界中でたくさんおられる。たくさん来られるとホストが大変である。また同じ地区から3名も行くとも国際親善にならない。ですから各地区から1名となっている。指定教育機関を決めるのも大変なのです。7月に提出した申請者でも16名のうちあと2名が決まっていな。12月中頃までかかりそうです。そういう現状です。これがロータリー財団国際親善奨学金制度です。後の委員会は各出席者の方をお願いします。

福岡重弘（粉河）地区R財団部門GSE副委員長 現状報告

現状報告させていただきます。GSEにつきましては皆さんよくご存知のように団長1名団員4名ということで、いままでは毎年派遣、受け入れとなっておりましたが、今年から2003－4年度は派遣、2004－5年度は受け入れとなっております。それで今年度につきましては4



名の団員を募集しましたところ5名の方の応募がありました。この5名の方達は大変優秀な方達だったので 委員長があまりにも素晴らしい方々であるのでなんとかならないのかということで 4名を1名増やして5名を受け入れて頂くことになりました。来年4月中頃 ブラジル4640地区に、この委員会の委員の阪本（和歌山）さんを団長として6名が出発の予定です。交換ですので次年度は同地区から受け入れることとなるのでご無理をお願いすると思いますので その時はご協力よろしくお願いいたします。

また団員の募集についてこのIMから応募がないように思われますので その機会がありましたらひとつ心に留めていただいて応募して頂きます様をお願いします。以上現状報告とお願いです。

藤原重行（和泉大津）地区R財団部門学友委員長

今年度学友を担当させていただいております藤原です。
よろしくお願いいたします。

皆さんご存知だと思いますが 学友とは何するところかと言いますと、元奨学生やGSEのメンバーの同窓会を指導、支援をおこなう学友委員会です。1971年



以来400名にもなります。名簿等整理しておりますが 1971年以来過去の方も私らより歳の方もいらして、どこにお住まいか把握してない方も多々いらっしゃいます。当委員会で整理しております。

当委員会は何がメインかといわれますと、9月にありました財団奨学生の帰国報告会です。それを担当しています。今年は5名の方にスピーチをしていただき、中身の濃い話でした。黄色の表紙の学友12月号がお手元に届くと思いますので 読んでください。

また皆さんのクラブでの卓話の斡旋をさせていただいております。どうしても卓話の斡旋ですので11月には財団の月間ですので集中してきます。特に学生の方は平日の昼間の例会にはなかなか出にくく、また社会人の方は夜の例会に行けないとか。斡旋にてこずる事があります。時期をずらしてこちらにご報告いただきましたら どうかお一人斡旋出来る形を取りたいと思っておりますので、2月3月予定ありましたら 一番新しい奨学生の卓話を聞いていただけたらと思います。

もうひとつ400名の中には声楽や音楽関係の方もたくさんいらして、この辺では、中川知保さんが継続的にコンサートを開催されたり、前田佳代さんがホームページであげられ活動しておられます。チケットの販売やPRのお世話をさせていただいております。また来年5月の世界大会の時、プレコンベンションを行い、4地区の奨学生を集める場を持ちたいと予定しております。

この場をお借りしてお願いしたいのは過去に奨学生を出しているクラブはその奨学生の親元の住所・電話番号 その方のメールアドレスをお調べいただきたい。どうしても学生さんは電話が通じない、携帯もなかなか通じない。アドレスが一番いいみたいです。今卓話の斡旋などの連絡するときはアドレスでおこなっております。いま一番メールアドレスが適切な手段かと思っております。

クラブから出ている奨学生をクリスマスとかの例会に呼んでやってください。彼ら

はロータリーの奨学生であったことに誇りを持っています。全国的に奨学金の返済の滞納が問題になっております。400億円とか。訴訟にまでいくとも言われております。ロータリーの奨学金は返済の必要はありませんがその代わり義務として卓話でお返しするようにしております。過去に緒方さんや中田さんのような方もおられる。また他にもたくさんのすぐれた方がいらっしゃると思います。今写真を回さしていただいておりますが、それは2001-2年度堺泉北ロータリーの奨学生山本みどりさんが派遣先のインドでポリオプラスのボランティアに参加しているところです。奨学生が至るところで活躍していることを紹介させていただいて終わります。



中西栄一（橋本）地区R財団部門増進副委員長 現状報告

増進委員会の中西です。ポリオプラスも加えさせていただきます。委員長さんが地区の役員の浅い私に経験させてやろうとのことですので宜しくお願いいたします。

まず昨年2002-3年にポリオプラス並びに財団に平均 221ドルもの多額のご寄付頂きありがとうございました。この大変な経済情勢の中で多額のご寄付を頂き、ご支援いただきましたことに厚くお礼申し上げます。とくにこのIM4組は一人当たり245ドルの目標を達成しました。2640地区でIMでは2番目の成績でした。本当にありがとうございました。お礼を言って お願いする委員会であると思っております。本年度はポリオパートナーということでプラス25ドル 3000円を それで225ドルご寄付いただくことになりました。年々厳しさを増す経済情勢ですが さらなる御理解を頂きたいと思っております。

ポリオプラスですが、お配りした資料3ページ3を見てください。発生した国や人数も02年は1918人、03年でも520人 と また11カ国に まだ発症の報告があります。1位はRI会長の国です。2005年には撲滅宣言をしたいのですが、WHOの撲滅宣言は発生が0から3年後であり まだまだであります。みなさんががんばっておられます。友11月号にこの撲滅に苦労されている 感動の記事も載っております。よく読んでください。

私が財団と関わりをもったのは、5年程前に知り合いの人のカウンセラーを1年間させていただいてからです。ロータリー財団のすばらしさがよくわかりました。ご

寄付を頂く上で財団がどんなプログラムをしているのかを各委員長さんはクラブで説明していただきたくお願いします。

また会員だけ寄付金を頂くばかりでなく、元奨学生やその家族、関係者の方々からも、また お知り合いの方々からも 門戸をあけて少しでもご寄付いただければと考えております。

配布の資料をよく読んで頂き、知識を深めて 会員の方にご紹介していただきたく思います。厳しい時代ですが、ご寄付もよろしくお願い申し上げます。

岩本行弘（富田林東）地区R財団部門委員長の追加の発言

奨学生を選考する場合 アメリカやイギリスではなくもっと他の国に行って欲しい、人の行かない国にとの要請がございます、国際貢献出来る人を選んで欲しいと。これに近い人を選んでいる。アメリカに行きたい人、ロシアに行きたい人があればロシア希望の方の成績が少し劣っていても選ばれることになる。ある地区で奨学生が多いのも タンザニア とかロシアとか人のあまり行かない国の希望が多いからです。

派遣出来るということは けっこうな地区であります。枠の無い地区にDDFを少し譲って下さいという要請もあります。寄付金の少ない地区、国に我々の持っている枠を譲っている。これも国際貢献であります。

IDナンバーについての質問に対してお答えします。
地区で皆さんの記録をこのナンバーを使い出して欲しい
とのことですが、プライバシーの問題から行いません。
個人でもとれます。このIDナンバーは東京の国際ロータリー事務局に問い合わせば、1日で出来ます。メールアドレスにパスワードが送られて来ます。更に注意していただきたいのは このパスワードは今の会長さんの年度内有効で、次の会長さんは新たにパスワードを請求しなければなりません。



奨学生に女性が多いとの疑問について説明させていただきます。今年度帰国報告されたのは全員女性です。男の人は就職の問題があるようです。女性でも 国際貢献される方も多い。国連に勤める方や、もともと勉強に行ったのですが、向こうで感化されて非常に国際貢献されておられる方もおられます。男の方もどんどん応募していた

だきたい。

それでは時間となりました。 地区の役員様方には詳しくご説明頂きありがとうございました。

約1時間 有意義な委員会でした。参加者の皆様ご苦労様でした。これにて終わります。



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2640

GROUP 4

**INTERCITY MEETING
IN
KOKAWA**

開 会 式

□開会式	司 会	東 敬二
□開会点鐘	ホストクラブ会長	平原 祥彰
□君が代・奉仕の理想	ソングリーダー	東 秀樹
□開会の言葉	I M実行委員長	植田 範矢
□歓迎の言葉	ホストクラブ会長	平原 祥彰
□ガバナー挨拶	ガバナー	前窪 貴志
□ゼネラルリーダー挨拶	ゼネラルリーダー	大澤 徳平
□来賓紹介	I M副実行委員長	宇田 勝彦
□地区役員紹介	I M副実行委員長	宇田 勝彦
□参加クラブ出席報告	登録受付委員長	東 秀樹

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2640

GROUP 4

INTERCITY MEETING
IN
KOKAWA